

X Shizuoka Career Development Program for
International Students (Annual Report(2nd
semester, 2019-1st semester, 2020))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高丸, 理香, 鈴木, 加奈子, 野口, 直子, 山田, 美穂 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00028210

X ふじのくに留学生就職促進プログラム（SCDP）

高丸 理香／鈴木加奈子／野口 直子／山田 美穂

文部科学省委託事業である「ふじのくに留学生就職促進プログラム（英語名称：Shizuoka Career Development Program for International students（SCDP）」¹は、平成29年度の採択当初より、静岡県内で学ぶ外国人留学生のキャリア教育と就職促進を目的とし、参画機関との連携を強化しながら、教育プログラムの開発・実施、インターンシップ・企業見学受入れの対応、講師派遣や企業との交流の場の創出、留学生の募集・採用・育成方法の検討など、多岐にわたり取り組んできた。特に、令和元年度は、参画大学の立地を勘案し、静岡と浜松の2会場で、年間を通して提供できる留学生特化のキャリア教育プログラムを構築した。よって、本年度は共通プログラム開始から実質2年目であるにもかかわらず、すでに令和2年11月末時点で3名（英語コース修士生1名を含む）の修了が確定している。なお、本プログラムでは、「共通プログラム（全15回）の受講」「インターンシップ4週間参加」「日本語能力試験1級（JLPT：N1）取得」を修了要件²としている。

当該プログラムの委託期間は5年間である。4年目を迎えた令和2年度は、これまでの事業をさらに整理・拡充し、最終年度を見据えて参画機関との更なる連携の強化を予定していたが、コロナ禍による影響のため、当初に予定していたプログラムやイベントは変更・中止とせざるを得ない状況となった。しかしながら、例年以上に就職活動の動向が見えないなか、帰国が困難となり進路を変更せざるを得なかったり、就職に関する情報や支援へのアクセスが難しかったりした留学生やその担当者等から、本プログラムに対して、就職相談やビジネス日本語支援のニーズが多く寄せられた。そのため、コロナ感染対策を万全としながらも、オンラインによる支援など状況に応じて柔軟に対応することで、当初の予定通りのプログラム内容の実施に加え、就職相談や日本語支援を強化する方向性で取り組んだ。令和2年度11月末時点のSCDP登録者数は183名であり（表1）、昨年度の同時期の登録者数（157名）より増加している。

留学生特化のキャリア教育における共通プログラムは全15回であるが、受講機会を広げるために、令和2年度も昨年度と同様に、場所や日程を変えて複数回の開催とした（表2）。また、集中セミナー（IおよびII）に関しては、日本語と英語の2クラスを開講した。ただし、企業見学バスツアーについては、コロナ感染防止の観点から実施を見送りとし、オンライン等を用いた代替案の実施を予定している。令和2年11月末までに開講された共通プログラムの受講者数の合計は328名であった。

これらの共通プログラムに加え、キャリア形成における実践や日本語能力の強化に向けて、SCDP推奨セミナー・イベントとして、主にインターンシップや日本語能力試験の勉

¹ プログラムの概要等については静岡大学国際連携推進機構紀要 第12号（平成30年）及び第11号（平成29年）を参照されたい。

² 「英語コース修士生」の修了要件は、「共通プログラムの一部受講」「インターンシップ参加」「日本語能力試験3級（JLPT：N3）合格」である。

強会の開催・周知を行った(表3)。本年度は、学内閉鎖となった大学があったため、日本語能力試験の勉強会は静岡大学のみでの実施となった。一方、静岡大学におけるビジネス日本語関連科目については例年通りの開講がなされ、令和2年11月末時点での履修者合計数は166名であった(表4)。引き続き、参画大学における日本語科目や就職支援室、各部署にて実施されているセミナー・イベントとの連携を強化し、留学生のキャリア教育や就職支援の機会を創出する予定である。

また、本プログラムは受託当初より、留学生が「日本で就職に向けた活動に意欲的に取り組む」ための支援として、(独)日本学生支援機構(JASSO)の学習奨励費(留学生受入れ促進プログラム特別枠)および(公財)日本国際教育支援協会(JEES)奨学金(就職促進)を支給している。受給者には、日本で就職活動をするうえで必要とされる最低限の知識・スキルの修得のために、「留学生就職ガイダンス」「集中セミナーⅠ」「集中セミナーⅡ」の受講を必須としている。本年度の受給者は、JASSO学習奨励費として19名、JEES奨学金として5名である。

就職支援については、これまでも個別面談を行ってきた。しかし、本年度はコロナ禍の影響により、多くの企業が採用スケジュールや採用方法の変更を余儀なくされたことから、例年以上に就職活動において困難な状況に直面した留学生があった。そこで、各大学の就職サポートの利活用を促しつつも、留学生に特化した支援として、静岡と浜松の2拠点にて、共通プログラムの受講者のうち、希望する留学生に対して個別面談を行った。両拠点とも対面およびオンラインでの対応を行った。静岡は日本語での相談が可能な留学生を、浜松は日本語が得意ではない留学生を主な対象とした。両拠点とも多くの相談が寄せられ、令和2年11月末時点で合計216件(静岡105件、浜松111件)となっている(表5)。

これらのキャリア教育プログラムや就職支援の実施と同時に、来年度(令和3年度)が最終年度となることから、これまでの活動内容の整理・見直しを行うとともに、本プログラム終了後の継承に向けた課題の共有を目的としてシンポジウムを開催した(令和2年9月4日開催)。さらに、コロナ禍によって企業の採用活動の在り方も変わってきていることを踏まえつつ、コロナ後をも見据え、静岡県における高度外国人材の活用を促進するきっかけとなるよう、テーマを「ふじのくにで 学ぶ、働く～コロナ禍を越えて共に生きる社会を目指して～」とした。開催に際して、コロナ感染対策のため会場は人数制限(50名)を行う代わりに、ライブ配信による視聴を可能とした。また、開催に先立ち、「留学生の紹介」や「元留学生の働く姿」の動画配信をホームページおよびFacebookにて行った³。シンポジウム参加者数は、会場参加者が44名、オンライン(ライブ配信)参加者が96名の合計140名である。開催後に実施したアンケート結果を表6に示す。

本年度は、昨年度までと比べて、実施・開催の見送りや延期となってしまったセミナー・イベントも多くあったが、一方で、シンポジウムや全国サミットなどの開催にてオンラインを活用したことで、本プログラムを通して、静岡県内における留学生就職促進にかかる

³ シンポジウムにて配信した事前動画および当日の録画編集による動画は、いずれもSCDPホームページ(<http://scdp.shizuoka.ac.jp/data/>)でオンデマンド配信を行っている(令和2年11月末現在)。

取組みを全国に向けた発信ができたことも成果の一つと言える。

〈参考資料〉

表1. 令和2年度 SCDP登録者数 (令和2年11月末現在)

大 学 等	学 士				修 士		博士	その他	合計
	1年	2年	3年	4年	1年	2年			
静岡大学	5	16	25	31	11	58	19	0	165
静岡英和学院大学	0	1	6	3	0	0	0	0	10
静岡県立大学	0	2	1	1	0	0	0	0	4
静岡理工科大学	0	0	1	0	1	1	0	0	3
常葉大学	0	0	1	0	0	0	0	0	1
沼津工業高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	19	34	35	12	59	19	0	183

※「その他」…研究生、特別聴講生、交換留学生、短大生
 ※R2年9月卒業（静岡大学）の学士4年13名、修士2年32名、博士5名を含む

表2. 令和2年度 共通プログラム

No	プログラム名	主催、実施 *協力	実施日	参加者数	
〈前期〉					
1	SCDP留学生就職ガイダンスⅠ	SCDP * 静大 * 静岡英和大	6/24 6/27 7/22	19名 18名 26名	
2	SCDP留学生就職ガイダンスⅡ	SCDP * 静大	6/24 6/27	19名 18名	
3	留学生のための就職支援講座Ⅰ 「静岡県の経済・産業」	コンソ、SIR * 静大	6/24 6/27	30名 24名	
4	留学生のための就職支援講座Ⅱ 「静岡県企業について」	コンソ、SIR * 静大	6/27 7/15	23名 15名	
5	SCDP集中セミナーⅠ	SCDP * 静大 * 静岡県行政書士会	8/8 8/11	17名 15名	
	【グループA】 JLPTN1～N2レベル				【グループB】 JLPTN3～5レベル
	「自分自身の再確認」				Job-search in Japan Ⅰ
	「在留資格について」 ※同時通訳				
	プレゼン準備・日本語指導				
8	プレゼンテーション「自分を伝える」				
〈後期〉					
9	留学生のための就職支援講座Ⅲ 「OB/OGに聞く・交流会」 (※10/31はオンライン開催)	コンソ、SIR * 静岡県大 * 静大	10/31 11/7	21名 2名	
10	企業見学バスツアー 「静岡県の企業を知る」	コンソ、SIBA	未定	—	
		SIR	未定	—	

No	プログラム名		主催、実施 * 協力	実施日	参加者数
11	SCDP集中セミナーII		SCDP * コンソ * 静大	12/22 12/23	-
	【グループA】 JLPTN1～N2レベル	【グループB】 JLPTN3～5レベル			
	「日本での就活の基礎・書類①」	Job-search in Japan II			
12	「日本での就活の基礎・書類②」	Job-search in Japan III			
13	留学生のための就職支援講座IV 「面接マナー・日本語指導・模擬面接準備」		SCDP コンソ		
14	留学生のための就職支援講座V 「就職活動の基礎知識・面接体験」		SIR * 静大		
15	県内企業との交流会・就職ガイダンス		コンソ	10/29	41名
	「日本での企業のアウトライン」 (※12/11はオンライン開催)		* SIBA * 静大	11/6 12/11	40名 -

※コンソ：(公社) ふじのくに地域大学コンソーシアム、SIBA：(公社) 静岡県国際経済振興会、SIR：(公財) 静岡県国際交流協会、静大：静岡大学、静岡英和大：静岡英和学院大学、静岡県大：静岡県立大学

表3. 令和2年度 SCDP 推奨セミナー・イベント

イベント名	実施場所	実施日	参加者数	主催
しずおかコンシェルジュ (株) インターンシップ	しずおかコンシェルジュ (株)	8月～10月 (10日間)	5名	しずおかコンシェルジュ (株)
しずおか焼津信用金庫 インターンシップ	しずおか焼津信用金庫、取引先企業	春季休業期間 に実施予定	-	しずおか焼津信用金庫
JLPT 勉強会 (静岡)	静岡大学	11/2, 11/9, 11/16, 11/30	8名	SCDP
JLPT 勉強会 (浜松)	静岡大学	11/11, 11/18, 11/25, 12/2	19名	SCDP
BJT 勉強会 (静岡)	静岡大学	12/14, 12/21	-	SCDP
「話っ、輪っ、和っ！」	オンライン	10/24, 11/14, 12/19 (予定) (3回開催)	(2回合計) 留学生13名 日本人15名	静岡県留学生等交流推進協議会

表4. 令和2年度 静岡大学ビジネス日本語関連科目履修者数 (令和2年11月末現在)

科目名	静岡キャンパス	浜松キャンパス
日本語3A-S		4名
日本語3B-S		3名
日本語3C-S		3名
日本語4A-S		8名
日本語4B-S		8名
日本語3A-F		3名
日本語3B-F		3名
日本語3C-F		3名
日本語4A-F		7名
日本語4B-F		7名

科目名	静岡キャンパス	浜松キャンパス
中級Ⅰ		4名
中級Ⅱ		4名
中級Ⅲ		4名
中級Ⅳ		4名
中級Ⅴ		4名
中級Ⅵ		4名
中級Ⅶ		4名
中級Ⅷ		4名
中級Ⅸ		4名
中級Ⅹ		4名
日本語Ⅳ	19名	15名
日本語Ⅴ	6名	3名
日本語Ⅵ	5名	8名
日本事情	留学生4名 (日本人3名)	留学生17名 (日本人3名)

表5. 令和2年度 就職面談件数 (令和2年11月末現在)

	学士	修士	博士	その他	合計
静岡 (※日本語対応)	82	17	6	0	105
浜松 (※英語対応)	0	98	12	1	111
合計	82	115	18	1	216

※「その他」…卒業生など
 ※10月および11月の件数は、R2年9月に卒業した学生の継続支援を含む

表5. シンポジウムにおけるアンケート結果

(回答者数：45名、回収率：32.1%)

質問	回答項目	回答数
シンポジウム開催を何でお知りになりましたか (複数選択、回答数：50)	メール	19
	チラシ	14
	ホームページ	5
	Facebook	3
	その他	9
参加した理由を教えてください (複数選択、回答数：87)	留学生就職促進プログラム (SCDP) に興味があったから	29
	職場や学校で参加をすすめられたから	20
	シンポジウムのテーマに興味があったから	19
	講演者・登壇者の話に興味があったから	13
	自身の職務と関連しているから	5
	オンライン開催に興味があったから	1
その他	0	

質 問	回 答 項 目	回答数
本日のシンポジウムはいかがでしたか (回答数：45)	非常に有意義であった	19
	まあ有意義であった	23
	どちらともいえない	2
	あまり有意義ではなかった	1
	有意義ではなかった	0
特に興味深かったものはどれですか (複数選択、回答数：100)	パネルディスカッション	26
	基調講演 「静岡県留学生の就職動向と雇用への期待」	23
	事例報告	19
	修了生紹介	18
	基調報告	14
	その他	0
オンラインは参加しやすかったですか (回答数：45)	参加しやすかった	20
	どちらでもない	4
	参加しにくかった	0

※回答数（内訳）：45名（会場：21名、オンライン：24名）
 ※回収率（内訳）：32.1%（会場：47.7%、オンライン：25.0%）